



内閣府だより



「かりゆしウェア」の普及促進について



特産品を購入する松本副大臣

「かりゆしウェア」の製造枚数は3年連続で40万枚を超え、引き続き順調に推移しています。

4月26日の閣僚懇談会では、島尻大臣から全閣僚に対してクールビズ期間の服装の選択肢の1つとして「かりゆしウェア」を加えていただきたい旨の御発言がありました。

また、内閣府沖縄担当部局としても、各省庁に対し、「かりゆしウェア」の共同購入の案内や、職員による積極的な着用の呼び掛けを通じ、「かりゆしウェア」の普及促進に取り組んでいます。

6月3日には、中央合同庁舎8号館において「沖縄物産展 in 内閣府」を開催し、「かりゆしウェア」をはじめ、様々な沖縄の特産品の販売を行いました。当日は多くの職員が会場を訪れたほか、河野大臣、加藤大臣、石破大臣、世耕官房副長官、松本副大臣、酒井大臣政務官も足を運び、商品を手にして沖縄特産品のPRをしました。



「かりゆしウェア」を購入する酒井大臣政務官



「沖縄物産展 in 内閣府」の様子

「かりゆしウェア」を着用して閣議に臨む各閣僚

6月7日の閣議では、安倍総理大臣をはじめ全閣僚が「かりゆしウェア」を着用して閣議に臨みました。

その後、島尻大臣は、「かりゆしウェア」姿で閣議後の記者会見に臨み、「かりゆしウェア」の着心地の良さをアピールするとともに、沖縄以外の地域でも広く普及することを期待している旨述べました。

